

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-358193

(P2004-358193A)

(43) 公開日 平成16年12月24日(2004.12.24)

(51) Int.Cl.⁷
A61H 39/04

F I
A61H 39/04

テームコード(参考)
4C101

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全3頁)

(21) 出願番号 特願2003-195363(P2003-195363)
(22) 出願日 平成15年6月6日(2003.6.6)

(71) 出願人 303031826
江島 祐一郎
佐賀県佐賀市鍋島1丁目10番17号
(72) 発明者 江島 祐一郎
佐賀県佐賀市鍋島1丁目10番17号
Fターム(参考) 4C101 BA01 BA10 BC27 BD02 BD12
BD13 BE02

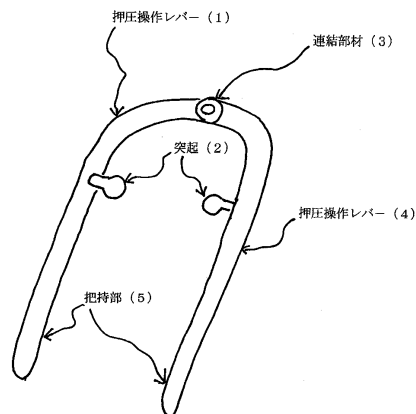
(54) 【発明の名称】 てこを利用したあんま器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 押圧力が強く、押圧箇所がずれないで、手も疲れず、押圧箇所を移動しながら心地よいマッサージが連続してできるあんま器の提供。

【解決手段】 一端が彎曲した押圧操作レバー1及び4に、適宜位置に調節自在の突起2を設け、回動自在の連結部材3で押圧操作レバーを連結する。操作レバーでつばを挟み、突起2をつばに当て押圧操作レバーを連続開閉し、押圧箇所を移動しながらマッサージを行う。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一端が湾曲した押圧操作レバー（１）及び（４）に設けた適宜位置に調節自在の突起（２）と回動自在の連結部材（３）との構成から成るあんま器。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、つばに突起を当て押圧操作レバーの開閉操作で、押圧箇所を移動しながら心地よいマッサージが連続して出来るあんま器に関するものである。

【０００２】

【従来技術】

指圧棒又指圧器具をつばに当て押圧していた。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

そのために、次のような欠点があった。

（イ）押圧力が弱くマッサージ効果が少ない。

（ロ）押圧箇所がずれる場合がある。

（ハ）手が疲れる。

（ニ）押圧箇所を移動しながら、心地よいマッサージが連続して出来ない。

【０００４】

【課題を解決するための手段】

一端が湾曲した押圧操作レバー（１）及び（４）に、適宜位置に調節自在の突起（２）を設け、回動自在の連結部材（３）で押圧操作レバーを連結する。

本発明は、以上の構成からなるあんま器である。

【０００５】

【発明実施の形態】

以下、本発明の実施形態について説明する。

（イ）一端が湾曲した押圧操作レバー（１）及び（４）に、適宜位置に調節自在の突起（２）を設ける。

（ロ）押圧操作レバーを、回動自在の連結部材（３）で連結する。

（ハ）つばを、押圧操作レバーで挟む。

（ニ）突起（２）を、つばに当て押圧操作レバーの把持部を持ち押圧する。

（ホ）押圧操作レバーを連続開閉することで、押圧箇所を移動しながら心地よいマッサージが連続して出来る。

【０００６】

【発明の効果】

（イ）押圧が強力で、マッサージ効果が大きい。

（ロ）押圧箇所がずれない。

（ハ）手が疲れない。

（ニ）つばの位置を移動しながら、心地よいマッサージが連続して出来る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の斜視図

【符号の説明】

（１）押圧操作レバー

（２）突起

（３）連結部材

（４）押圧操作レバー

（５）把持部

10

20

30

40

【 図 1 】

